

ハミングドラゴン  
ココ



ちいさな男の子のマックスが台所のテーブルでぎゅっと目をつむり、片方の手でほっぺを押さえています。歯が痛くなったのは今日の朝からです。最初はチクッとするだけだったのに、それからだんだんとズキズキがひどくなり、今はもう痛くてたまりません。マックスの目からはポタリとちいさな涙がこぼれ落ちます。

「たぶん歯に穴があいちゃってるんだわ。」とママが言いました。

「えっ、歯に穴が？ 僕のお気に入りのこのシマシマの靴下みたいに、穴がぽっかりあいてしまったの？」マックスはぶるっと震えました。

「歯医者さんに行かなきゃね。早く治してもらわないと、もっともっとひどくなってしまうわよ。」とママは言いました。



それにしても、どうして歯に穴があいてしまったのでしょうか？

「昨日は何を食べたの？」

とママに聞かれ、マックスはひとつずつ思い出しました。

朝はジャムをたっぷり塗ったトーストを、おばあちゃんの家ではホットケーキのチョコレートソースがけを、夜はごはんを食べずにデザートのアイスcreamだけをペろり。

おもわずに顔がにやけたマックスですが、すぐにまた歯がズキズキと痛みだし、しょんぼり顔へぎやくもどり。

「そんなに甘いものばかり食べていたら、歯が痛くなっても仕方がないわね。」

「甘いものには砂糖がたっぷり入っているのよ。」

とママはマックスに説明しました。

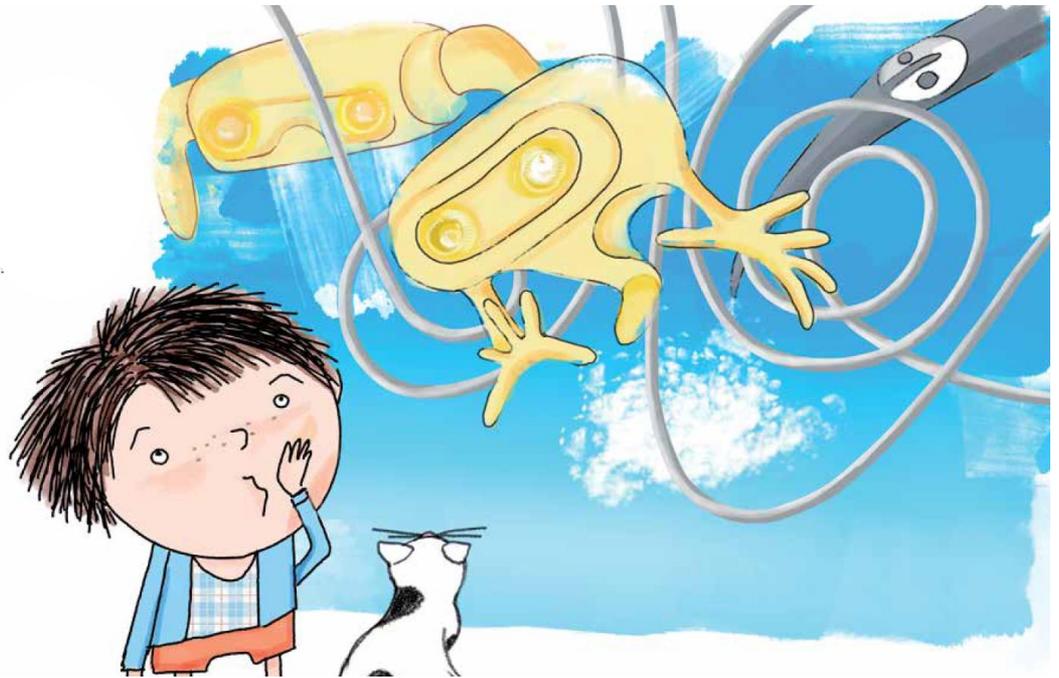
「だから食べた後は、歯をしっかりみがかないといけないのよ。しっかりみがかないとお口の中の小さなバイキンがどんどん増えていって、歯をチクチクと攻撃するのよ。それを虫歯っていうの」  
虫歯になった歯には大きな穴があいて、そこがズキズキ痛むのです……。



マックスは歯医者さんへ行った  
ことがありませんでした。でも、  
前にお姉ちゃんのリリーが、  
歯医者さんはとっても怖いところ  
だと言っていました。

部屋の中では、細長いコードが  
ニョロニョロとはいまわり、機械  
がキーキー、シューシューと  
うなりをあげるって。  
おまけに目がピカッと光る、  
空とぶエイリアンまでいるとか…。

お姉ちゃんは怖がらせたかった  
だけ？  
それとも……？



その日のうちに、マックスはママに連れられて歯医者さんへ。ママの手をぎゅっとにぎりしめるマックス。

待合室でじゅんばんを待っているあいだも、ほっぺがズキズキと痛くて、何もしゃべる気になりません。

「マックス、あなたの番よ」

やさしそうなアシスタントさんが、マックスとママを診療室へ案内しました。



「やあ、マックス」  
歯医者さんのフランク先生が言いました。  
「こんにちは……」  
といかけたマックスは、はっと息を飲みました。  
おやおや、あれは何でしょう？  
先生の手ひらにちょこんと乗っているのは、ちいさな緑色の生きもの。  
マックスのほうへ手をのばしています。

「うわあ！ほんもののドラゴンだ！」

そのドラゴンはとても小さく、芝生みたいにきれいな緑色をしていました。

「こんにちは、マックス！」  
と挨拶をしました。

「おいらはドラゴンのココ。  
先生を手助けするのさ。  
さあ、ここに座って。おいらがぜんぶ  
教えてあげるよ！」



マックスはワクワクしながら歯医者さんのイスに座りました。

「そいつは特別なイスなんだ！」

とココが言いました。

「体の大きさに合わせて、上げたり下げたりできるのさ！ しかもこの背もたれは、平らになるまで倒すことができるんだよ！ おかげで先生は、キミのお口の中をじっくりみることができるんだよ。」

ココがいろいろなものを指さしながら、つぎつぎと説明していきます。

「ここにあるのが治療のための道具さ」  
そうって、さきっぽに小さな鏡がついている道具を手に取りました。

「こいつがあれば、キミの歯を反対からでも見ることができる。奥歯だって楽勝さ！ それからこいつは空気と水をシュッとふきかける道具。これで歯にくっついたりしてジャマになるツバを吹き飛ばすことができるんだ。ちょっとくすぐったいかもよ！」

うでにシュッと吹きかけられて、マックスはクスッと笑いました。



フンフンフン。

ココが楽しそうにハミングしながら、まぶしいライトの上に飛びのりました。  
この道具のことはもう教えてもらいました。

「こいつを使って、キミのお口の中を明るく照らすんだ。お口の中は真っ暗だからね。小さなドラゴンは暗闇が苦手なのさ。ちょっとだけね！」

ココがいたずらっぽくマックスにウインクしました。



背もたれがウィーンと静かに下がって  
いきました。すっかり怖くなくなった  
マックスは、イスの上でアーンと大きく  
お口を開けました。  
フランク先生とココがマックスのお口  
中をのぞき込みます。

「ふうむ、なるほど。」とフランク先生。  
ココはその横で楽しそうにはハミングを  
しています。

「ママの言うとおり、奥歯に小さな穴が  
あいているね。ちっちゃな虫歯が口の中  
で悪さをしているようだ。」

「この穴をふさがないといけないね。」  
と先生が説明しました。

「最初にちょっとドリルで削って、虫歯  
になっているところを取り除こう。  
それからその穴につめものをして、歯を  
元どおりにするんだ。」

マックスはまた怖くなりました。

「口の中にドリル？ ドリルって、壁に  
穴をあけるあのでっかいドリルかな？  
パパがママの絵を飾る時に使うドリル  
かな?!」



そんな心配をよそに、ココはマックスのお腹の上にポンと飛びのり、耳もとでささやきました。

「今からおいらが虫歯を調べてみるけど、心配はいらないよ。おいらはターボドリルの専門家だからね。このドラゴンパワーミニチュアタービンであつという間に完了さ！」

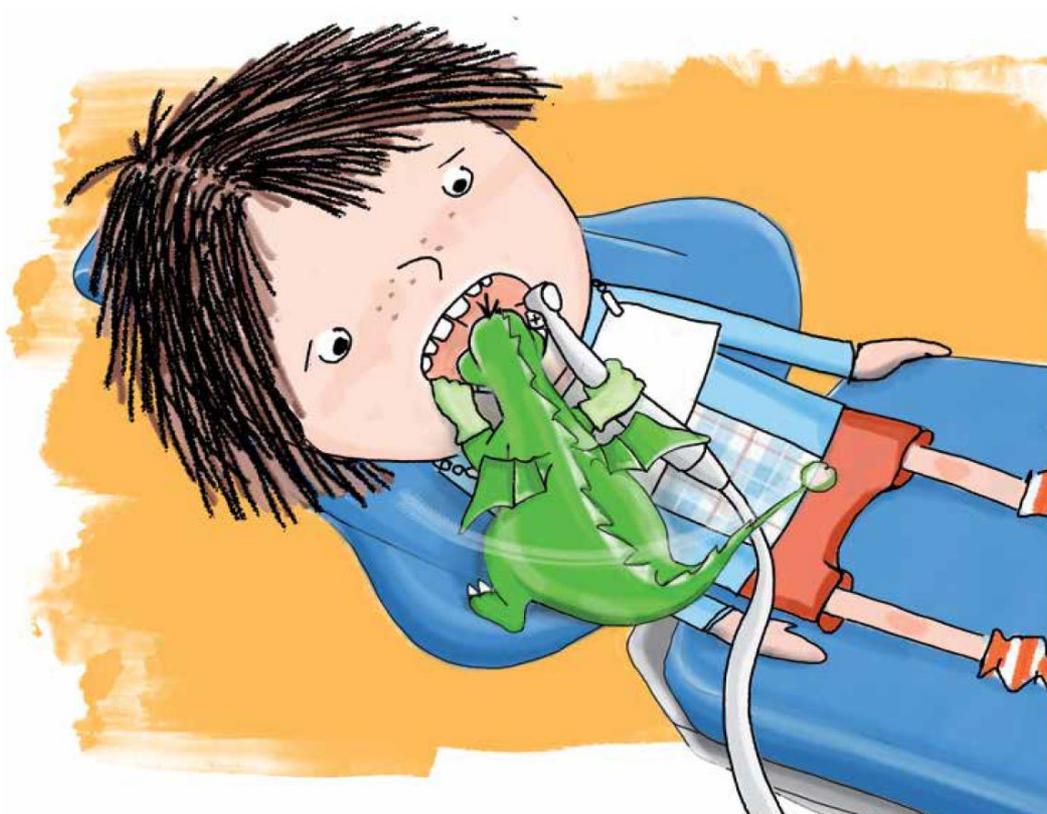
ドラゴンココがライトをそばへ引きよせました。マックスは口を大きくいっばいまであけました。

フンフンフン。  
ココがしずかにハミングしながら、じっと寝そべっているマックスの虫歯をドリルで削っていきます。

シッポをブンブンふってごきげんのココ。たまにそのシッポがマックスの耳をくすぐります。

マックスはクスッと笑い、思いました。  
「なーんだ、ちっとも怖くないや。」

ココはもうドリルを終えたようです。フランク先生が、すぐに固まるつめものを小さな穴に詰め、残ったカスを洗い流します。



「これでおしまい！」とココ。

「キミの歯はすっかりもとどおりに  
なったけど、これからは歯に  
穴があかないよう、しっかり予防して  
いかないとね。だから必ず  
毎日朝と夜の2回、しっかりと  
すみずみまで歯をみがこうね。」

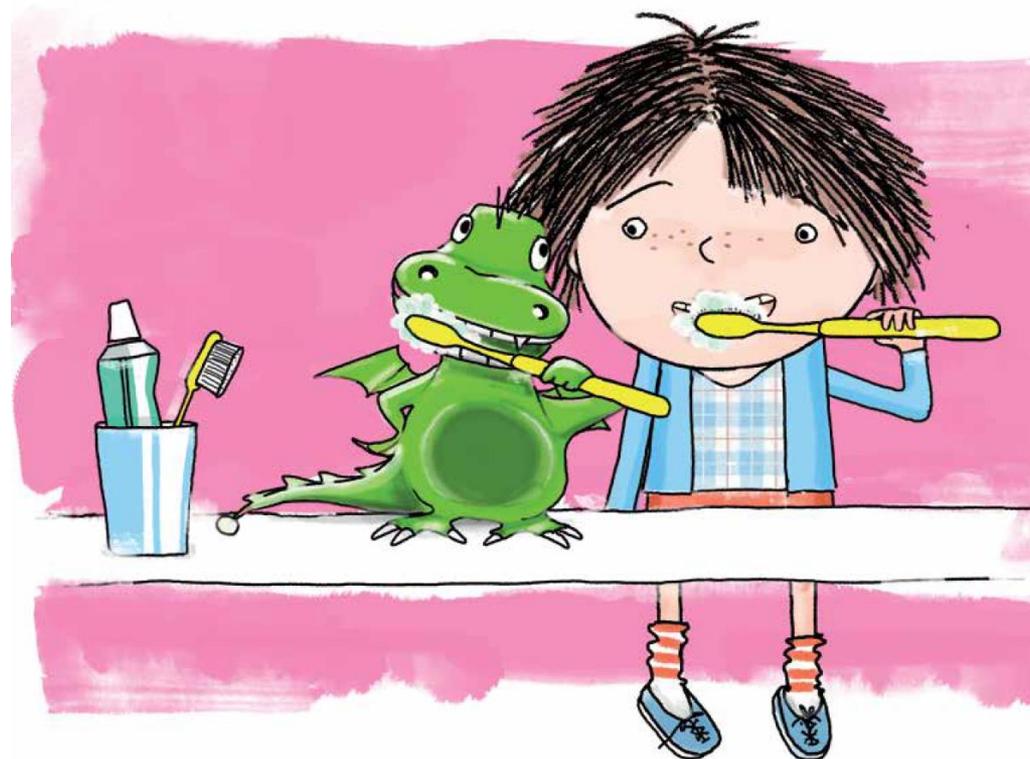
ココは歯みがき粉と2本の歯ブラシを  
取りだしました。

「今からおいらが、正しい歯のみがき  
方を教えてあげるよ！」

ふたりは洗面台の前に並んで、歯を  
みがきはじめました。

上から下へ、奥から前へ、右、左、前、  
後ろ、それからぐるっとマルをかく  
ように……。

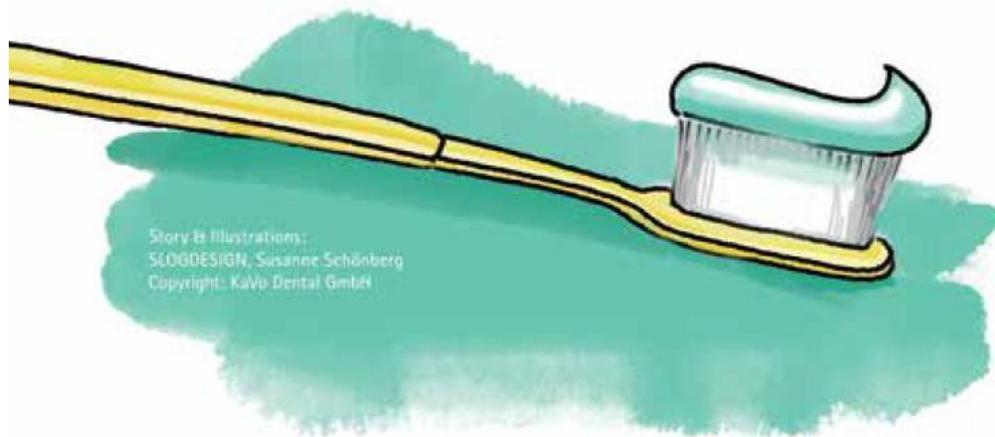
マックスはココといっしょに、とても  
楽しく歯をみがきました。



歯医者さんから出てきた  
マックスは、ピカピカの笑顔です。

「これからは毎日しっかりと  
歯をみがこう」  
マックスはそう心に決めました。

ココがせっかく教えてくれた  
からね！



保護者の皆さまへ

～お子さまの歯を健康に保つために～

- 健康な歯を保つためには、歯科医院での定期診断の受診が欠かせません。1本目の乳歯が生えてきたらすぐに歯科医院での検査を受けましょう。その後も定期的な検査が推奨されます。
- 乳歯が生えてきたら、少なくとも1日2回はしっかりと磨くことが大切です。お子さまが歯を磨きたくなるように促し、きちんと磨けているかを確認してください。
- 特に口腔内が不衛生である場合、炭水化物や糖分を含む食べ物は虫歯を引き起こす主要因となります。ジュースや果汁入りの紅茶、牛乳といった糖分が入った飲みもので、多くのお子さまが虫歯を発症しています。
- 健康でバランスのよい食事を心がけてください。
- 虫歯予防法の一つに、シーラントという処置があります。臼歯の噛み合わせ部分にある凹凸を入念に洗浄後、人工物で埋めて虫歯から保護する手法です。詳しくは当医院にお尋ねください。
- フッ素塗布法は、損傷した歯（初期の虫歯）のエナメル質の再石灰化や修復に用いられます。フッ素は歯磨き粉やフッ素添加食塩、飲料水、特殊なフッ化物錠剤などに含まれますが、1日の適正摂取量が決まっているため、必ず使用上の注意をお読みください。詳しくは、当医院にお尋ねください。
- その他、お子さまの歯のケアに関するご質問があれば、当医院までお尋ねください。

## 裏面

ドラゴンパワーミニチュアタービン  
を手にした“ハミングドラゴン”の  
ココが、小さな男の子マックスに、  
歯の治療についてひとつずつ  
手ほどき。小さな患者さんを  
やさしくなだめ、落ち着かせながら、  
恐怖心を取り払っていきます。

この緑色をした小さな歯科  
アシスタントのココの活躍を、  
すべてのお子さまが保護者の皆さま  
と一緒に楽しみいただけたら幸いです。

検査や処置が終わったら、当医院の  
スタッフにひと声おかけください。  
勇気あるお子さまたちに特製のココ  
ステッカーを差し上げます。

